

尾張健康友の会 ニュース



あなたのふらつき薬の飲みすぎ!? 多種類のくすりの服用は効能に反して仇なすことも

薬の多剤服用の危険性と対処について

千秋病院薬剤科 薬剤師 原田 真紀

のみ薬が増えると、副作用が起こりやすくなるので注意が必要です。

増えがちな薬

分かりやすい例えですと、睡眠薬を服用しているがなかなか眠れないので別の睡眠薬をもう一種追加した。痛み止めを飲んでいたら胃が痛くなったので胃薬を処方してもらった・・・などがその例です。

多剤服用の問題点

多剤服用にはどんな問題があるのでしょうか。まず明らかなのは薬剤費の増大です。薬剤数が増えればそれだけ自己負担分の金額も上がります。次に飲み忘れや飲み間違いの問題があります。薬の数が増えれば増えるほど管理が難しくなります。薬を飲み忘れたり飲み間違えたりすることで、病状をも悪化させかねません。また、薬の相互作用（薬と薬のケンカみたいなもの）の問題も起きやすくなります。

多剤服用を防ぐ

最初に記したように、薬は知らないうちにどんどん増え、漫然と飲み続けることになりかねません。このような場合、睡眠薬を追加するのではなく別の睡眠薬に変えてもらうとか、痛み止めを一且やめてみる、もしくは胃に負担の少ない痛み止めに変えてもらうなど、薬を増やさない工夫があります。



実施中
 一宮市特定健診、後期高齢者特定健診、がん検診
 お急ぎ下さい！ 健診実施期間は10月まで！

市民公開講座 いきいき健康教室
第2回糖尿病教室
 「自宅でできる運動療法」
 自宅で簡単にできる運動について詳しくお教えします

日時 11月14日(水) 14:00~
 場所 千秋病院市民健康教室
 千秋病院 リハビリテーション科
 講師 大橋 誠 (理学療法士)

参加費無料/予約不要
 糖尿病でない方もお気軽にご参加ください♪
 千秋病院 ☎ 0586-77-0012

事例 睡眠薬によるふらつきで転倒して骨折

夜間、自宅でトイレに行こうとした際に転倒して骨折入院したBさん。転倒の原因は、睡眠薬服用によるふらつきでした。前から不眠があり、長期的に睡眠薬を服用してきました。

入院中も継続して服用

理学療法士 栗本征哉

お気軽にご相談を

私たち薬剤師は、多剤服用を防ぐために患者さんのお薬の内容と病状を確認し、できるだけ必要な薬を投与しない提案をさせていただきます。みなさんご自身でも、たくさんのお薬を服用する事の危険性を理解していただき、必要な薬を最小限で服用できるように、医師や薬剤師にご相談いただけると幸いです。

平成30年7月豪雨災害義援金は232,984円お寄せいただきました。全額全日本民医連を通じて被災地へ届けられます。ご協力ありがとうございました。

助け合い支えあう みんな笑顔で健康づくり

2018年 家族健康まつり

〈日時〉 10月21日(日) 午前10時~午後2時
 (雨天実施 台風接近の際は中止とします)

〈会場〉 千秋病院
 詳しくは別紙のチラシをご覧ください

沖繩全戦没者追悼式が6月23日に行なわれ故翁長知事が「平和宣言」を行った。20数万人余りの尊い命を奪い去った地上戦が繰り返されてから73年目を迎える▼この悲惨な体験から戦争の愚かさ命の尊さという教訓を学び平和を希求する沖繩の心を大事に今に生きていく。未来を担う子や孫が心穏やかに笑顔で暮らせる「平和で誇りある豊かな沖繩」を築き取り組んでいくための宣言である▼無念にも8月8日、翁長知事の訃報を聞き「沖繩の心は日本の心」にして頑張らねばならないと新たな決意が湧いてくる▼浦添市の中学3年生の相良倫子さんの「生きる」と題した長い詩が追悼会で朗読された。詩の最後に「摩文仁の丘の風に吹かれ、私の命が鳴っている 過去と現在、未来の共鳴 鎮魂歌よ届け 悲しみの過去に。命よ響け。生きゆく未来に、生きていく」涙が落ちる感動的な詩の朗読だった▼9月に入って台風21号の爪痕は日本列島を縦断し北海道だけでも40人余の死者が出た。日本列島は火山帯の上でありこれからも様々の災難に出会うであろうが、生きる力を持って沖繩の心に応えようと思う。(光)